

児童家庭福祉	1年	前期	後期	講義2単位	担当教員名	齋藤 寧
	卒必	幼必	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 多様化した社会における児童家庭福祉論の必要性について理解する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> 多様化した社会と児童家庭福祉の現状を理解する。 児童の人権、専門機関が存在する理由を探究し、保育者としてそれを理解する。 児童家庭福祉の専門家となるため、方法と実践を学び、それを理解する。 						
授業の概要 こどもは、未成熟のまま社会に生まれる。生存し成長するのに保護を必要とする状態で出現する。まず、母親や家族、その近くにいる人々の世話を必要とし、親族や専門家などの育児におけるサポートを期待する。さらに、その子を育てるために専門家の指導が必要とされるが、子どもが自立するまでには十数年も要するのである。この間に行われる社会の援助が児童家庭福祉である。その理念と実践は、ひとりの子どもにとってのみならず社会にとって重要な資源でもある。						
授業計画						
コマ(回)	項 目			内 容		
1	児童家庭福祉の理念と概念			・児童福祉法と児童憲章 ・児童家庭福祉の理念		
2	児童家庭福祉の現況			・少子化について ・現代社会と児童福祉		
3	児童家庭福祉の歴史			・エリザベス救貧法と児童家庭福祉 ・日本の児童家庭福祉の変遷		
4	児童家庭福祉と保育士			・児童福祉法と保育士 ・保育所の役割 ・児童の権利に関する条約		
5	児童家庭福祉の制度と法体系			・日本国憲法と保育所 ・児童福祉法と制度について		
6	児童家庭福祉行政と機関			・児童家庭福祉に関わる諸機関について		
7	母子保健と児童の健全育成			・母子保健の現状とその施策について ・健全育成とは何か		
8	保育サービス			・保育サービスの現状と課題について ・演習：ディスカッション		
9	要養護児童へのサービス			・社会的養護サービスの内容と課題について。		
10	障害児へのサービス			・障害の定義と障害児福祉サービスの概要と課題について。		
11	少年非行への対応			・少年非行の現状とプロセスについて ・不登校支援 ・演習：事例検討		
12	ひとり親家庭へのサービス			・母子及び寡婦福祉法について ・子どもの食育について		
13	子ども虐待の防止とその対応			・子ども虐待の現状とその予防対策について ・演習：事例検討		
14	児童家庭福祉と福祉援助			・児童家庭福祉でのソーシャルワークのプロセスについて		
15	児童家庭福祉の担い手			・児童家庭福祉に関係する職員とその役割について		
定期試験	15コマ終了後に試験を実施する。					
テキスト	児童家庭福祉 福田公教/山縣文治編著 ミネルヴァ書房					
参考図書	吉田眞里 児童の福祉を支える児童家庭福祉 萌文書林					
教員の評価方法	学習への関心態度(30%)、試験結果(70%)を総合して評価する。					
準備学習等履修上の留意点	社会福祉について復習してくること。					